

総合政策学部

# 知の祭典 研究発表

「リサーチフェスタ2014」  
22チームが参加



制作者=齋藤朋子実行委員(2年)



優勝チームの3人。左から大野さん、野平さん、長島さん



学部事務室近くのロビーには  
出場チームのポスターが掲示された

最優秀賞は

# 再生可能 エネルギー問題 3年生3人

中央大学総合政策学部1～4年生が日ごろの学術研究を発表する学部イベント、「リサーチフェスタ2014」(以下リサフェ)は昨年12月5日に行われ、参加22チームの頂点に立つ最優秀賞に輝いたのは再生可能エネルギー促進のあり方に着目した大野雅純さんら3年生トリオだった。大会の様子を吉井千尋実行委員長(国際政策文化学科3年)が報告する(学年は大会時)。

【最優秀賞】

# 再生可能エネルギー促進政策に関する提言 —均等割総量規制政策導入による負担抑制—

3年 大野雅純、長島圭吾、野平隆介(横山ゼミ)

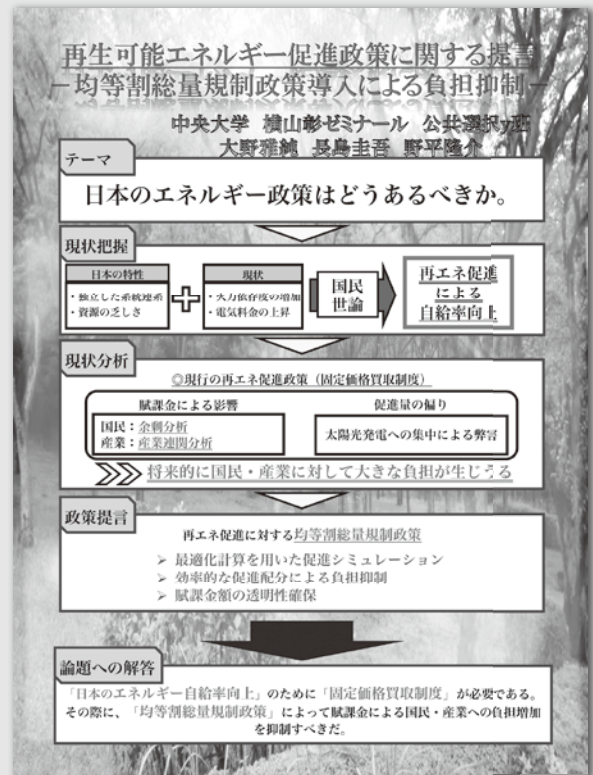
2011年3月11日、東北地方に大規模地震災害が発生し、甚大な被害をもたらした。この東日本大震災は直接的な被害に加えて、福島第一原発の原子力事故を引き起こした。この事故を契機として脱原発の気風が高まり、政府は一時全国の原子力発電所の稼働を停止した。

東日本大震災以前においては、政府は準国産電源とされる原子力発電推進によって火力発電依存度を軽減していく方針をとっていた。しかし、震災後の国民の世論を鑑みると今後原子力発電を推進することは難しい。一方で電気料金上昇による影響を強く受ける産業界は原子力発電再稼働の加速を求めている。

国民・産業の両者の要望を実現するためには、電気料金上昇による負担を考慮し、効率的な再生可能エネルギー促進によるエネルギーシフトが必要だろう。

しかし、現行の再生可能エネルギー促進政策である固定価格買取制度(Feed in Tariff 以下FIT制度)は、制度の特性上電気料金を上昇させる。さらに、諸外国での経験則から太陽光発電への普及状況の偏りは経済的に大きな負担となることが見て取れる

が、現在のFIT制度の促進状況から、諸外国と同様の傾向を辿っていることがわかる。この状況に対し、我々はFIT制度の改正を提言する。



最優秀賞チームのポスター

リサフェは2013年から始まった。機運は年々高まり、多摩キャンパス11号館3階ロビーには参加チームの大型ポスターが数多く掲示され、その出来栄が大会へといざなう。

今回のプレゼンテーション発表には発表者だけではなく、授業を終えた学生が会場の教室棟に駆けつけ

るなど関心の高さを示した。約15分の発表内容は歴史的人物に焦点を当てたものから、映像を使用したドキュメンタリーや統計を分析した社会問題考察まで、総合政策学部にもさわしく多岐にわたった。

どのテーマも内容充実、実力伯仲のなか、「再生可能エネルギー促進

政策に関する提言」という政策立案をテーマにした横山彰ゼミの大野雅純さん、長島圭吾さん、野平隆介さんが最優秀賞を獲得した。審査は教授陣によって行われた。

東日本大震災以降、大きなテーマとなっているエネルギー問題に取り組んだ3年生3人は、リサフェ開催の



松野学部長(右)から表彰される  
優勝チームの長島さん

1カ月前の11月下旬に同テーマの論文を学外の学術団体『公共選択学会』(設立・1969年、事務局・慶應義塾大学総合政策学部内)の「第17回学生の集い」(東海大学湘南キャンパス)に提出し、「3年生最優秀賞」を受賞した。

リサフェ2014にエントリーした理由を野平さんは「公共選択学会とは異なるさまざまな専門分野の教授に、自分たちの論文を評価してほしい」と説明した。

発表に至るまで「研究の意義、独自性を考え、それを他者に効果的に

## リサーチフェスタ2014 各賞受賞者リスト

賞	【発表タイトル】 学年 受賞者(ゼミ・指導教員)	賞	【発表タイトル】 学年 受賞者(ゼミ・指導教員)
最優秀賞	『再生可能エネルギー促進政策に関する提言 —均等割総量規制政策導入による負担抑制—』 3年 大野雅純・長島圭吾・野平隆介(横山彰ゼミ)	奨励賞	『「小児リウマチ」に関する研究—体験的考察を中心に—』 4年 中松真紀(松野良一ゼミ) 『アリー・シャリーアティ再論—一人と思想—』 4年 村山木乃実(早川弘晃ゼミ) 『小売業の海外進出における成功要因』 4年 山本廉(山野井順一ゼミ) 『女性雇用と業績の関係性における 制度的要因のモデレート効果:定量的分析』 3年 片岡純・大島佑介・松原大輝・小倉康輔 (山野井順一ゼミ) 『台湾二二八事件と中央大学卒業生』 3年 澤田紫門(松野良一ゼミ) 『「一票の格差」是正の阻害要因について』 3年 横山健太(横山彰ゼミ) 『絵手紙に綴られた東日本大震災』 3年 渡邊日菜(松野良一ゼミ) 『プライバシーの権利と表現の自由の攻防—忘れられる権利』 2年 加藤祐作・森下真太郎・奈良瞳・手塚啓太・山下照博・ 三角勇貴・四ツ谷美季・飯島勇人・小美濃優・尾崎正楠 (宮下紘ゼミ) 『ベトナムの教育問題』 2年 丸山拓人・黒川雄太・平塚祐希・三上明日果・小林礼佳 (FLP崎坂香屋子ゼミ) 『気付こう自分の方言!』 2年 細野未来・下川恵理子・鈴木晴絵(中川恭明ゼミ) 『中央大学におけるエコ活動の未来』 1年 伊藤響・青木佑生菜・飯山拓身・岩本倫茄 (キャリアデザインワークショップ・弘中貴子先生) 『日本の福祉の未来』 1年 山口さゆり・池田夏香・齊藤愛・齋藤正幹・ 宇田川順平・須貝真実 (キャリアデザインワークショップ・弘中貴子先生)
優秀賞	『動画共有サイト上における著作権侵害対策のあり方』 4年 大竹由季絵(平野晋ゼミ) 『忘れられる権利—ネット社会の法制度』 3年 藤井碧・齋藤悠輔・越智泰人・大坪志穂・相馬卓弥・ 信澤大平・土屋達義・松原智哉・内田純一 4年 柳谷里佳・山下真司(宮下紘ゼミ)		
敢闘賞	『電力小売り全面自由化における新電力シェア予測』 4年 安田紳太郎(山野井順一ゼミ) 『北方領土問題解決を阻んでいる要因とは?』 3年 大西誓(泉川泰博ゼミ) 『同族企業における経営者交代が与える業績への影響 —定量的分析によるアプローチ—』 3年 鯉淵成美・島本香奈・藤井俊・餘田貴大 (山野井順一ゼミ) 『八王子空襲とは—戦後69年に考える—』 3年 添川隆太(松野良一ゼミ) 『Jリーグクラブによる高齢者コミュニティの創出 —ブラウブリッツ秋田シルバーかだるプロジェクト—』 3年 高島正暉(FLP小林勉ゼミ) 『コミュニケーションツールの進化と 人間行動の変容に関する研究 —大学生のLINE使用による影響—』 2年 小粥貴登・尾張実花子・高橋優利(FLP大橋正和ゼミ)		
奨励賞	『忘れられた日本の恩人 —スリランカ大統領ジャヤワルダナとは誰か—』 4年 谷口生(保坂俊司ゼミ)		

伝えること」などに苦慮しながら、「論文の引用や出典などを明記。剽窃を疑われないよう細心の注意を払いました」と舞台裏を明かしてくれた。

プレゼンの聴講者には、エネルギー政策に関しては疎い人がいるかもしれない。「15分のプレゼンで主張を伝えることは大変で、横山先生や先輩たちにいろいろと指摘していただいた。それがよかった。感謝や謙虚さを忘れず、これからも頑張ります」。そういう長島さんの表情は晴れやかだった。

懇親会では、硬い表情だったプレゼンとは打って変わって賑やかな雰囲気となり、交流の輪がいくつもでき

た。最優秀賞の横山ゼミ生の大野さんも「分野の異なる他のゼミと交流しなかった」と希望が叶って笑顔を見

せた。相互に話し合っ、さらにいいものを一。2015大会へ期待を抱かせる。機運がまた熟していく。



学生スタッフらの活躍で大会は盛り上がった

## 電子書籍アプリ『白門書房』



『白門書房』は、中央大学が発行する広報誌を集めた、電子書籍配信アプリです。

『HAKUMON Chuo』のバックナンバーはもちろん、これまで印刷物のみで配布していた中央大学の大学案内誌や学部ガイドブック、大学院・専門職大学院案内、附属学校案内などを、電子ブックの形式でダウンロードできます。

利用方法は簡単。iOSの場合はApple Inc.が運営するApp Store (アップストア) から、Androidの場合はGoogle Inc.が運営するGoogle Playから無料でダウンロードできます。App StoreおよびGoogle Playへは、無線LAN (Wi-Fi) を通じてどこからでもダウンロードできます。

『白門書房』ダウンロード後は、インターネットへの接続環境がなくても、電子ブックを開くことができます。

過去のバックナンバーや他の媒体を読みたい場合は、4GやWi-Fiを通じて何冊でもダウンロード可能です。

本電子書籍・ドキュメント配信システムは、2015年3月現在、86冊の大学広報誌を用意しており、今後も、新刊本発刊次第、順次電子ブックで提供する予定です。

『白門書房』アプリについての詳細は、以下のサイトよりご覧いただけます。

**iOS版**

<http://itunes.apple.com/jp/app/id413465097>

**Android版**

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.documentcontainer.web>

※Android4.0未満の機種ではご覧いただけませんので、ご注意ください。

**iOS版ニューススタンド(2015年リリース)**

※定期行物である『HAKUMON Chuo』、『中央大学の近況』についてのみ、こちらでご覧いただけます。